

# 東京教区時報

第1043号  
2007年7月8日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇7月の代祷・信施奉献先  
▽アジア学院のため▽海の主日のため(7月第2主日・7月8日)▽聖公会八王子幼稚園のため▽女性の家H E L Pのため

## 《奉献先から》 海の主日

わたしたちの食卓をにぎわす海の幸、誰かが海で働いています。多くは遠い海です。他の食べ物も、工業原料も、エネルギーも海を渡って来ます。わたしたちの生活は海で働く人々の労働の上に成り立っています。私たちが眠っているときも、危険な海の上での労働です。日本の船だけではありません。賃金や安全の面で劣っている条件の中で、多くの貧しいお国の船員が働いている事実もあります。わ

## 今週・来週の予定

7月8日~21日

8(日)	主日 聖霊降臨後第6主日 主日 聖霊降臨後第6主日	主日 聖霊降臨後第6主日
10(火)	常置委員会 銀座朝会	常置委員会
11(水)	協働委員会 エルサレム聖堂活動委員会	協働委員会
12(木)	協働委員会 外濠G牧師協議会(目白) 環状G牧師協議会(立教チャペル)	協働委員会
13(金)	広報委員会 聖職養成委員会	広報委員会
15(日)	主日 聖霊降臨後第7主日 主日 聖霊降臨後第7主日	主日 聖霊降臨後第7主日
	アグネス教会 大森聖アグネス教会(目白)	アグネス教会
	清瀬協議会(清瀬)	清瀬協議会(清瀬)
	小金井協議会(小金井)	小金井協議会(小金井)
	多摩G教会協議会(多摩)	多摩G教会協議会(多摩)
	平和協議会(平和)	平和協議会(平和)
	研究會(16日・ナザレ)	研究會(16日・ナザレ)
17(火)	将来計画検討特 月島聖公会	将来計画検討特
18(水)	レクイエム 教役者会(三光)	レクイエム
	幼稚園委員会	幼稚園委員会
	聖バルナバ	聖バルナバ
19(木)	聖バルナバ	聖バルナバ
20(金)	信徒講座:教会の歴史	信徒講座:教会の歴史

たしたちの日々の生活は、普段は忘れられている人々の働きによって支えられています。長い間家族と離れて海で働く人々と、その家族のために祈りましょう。そして海の平和と安全のために。(管区総主事 司祭 三鍋 裕)

▽礼拝音楽委員会主催「聖歌集」を歌う会〜高原の風にのせて(8月10日(金)〜11日(土)、中軽井沢・立教女学院軽井沢キャンパス) 植田教区主教講話 礼拝サービスマニエージュの学びと実践、その他。参加費9千円。申込みは7月22日(日)までに清瀬聖母教会宮崎光司祭(同委員会委員長)宛、電話042(493)7472。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

先頃ある信徒さんが逝去されました。87歳の生涯でした。幼少から青春期までを海外で過ごされ、昭和は戦時中に帰国されました。世界規模の戦乱の体験、そしていわゆる帰国子女として、さぞ難儀な日々もあったことでしょうに、高齢者として体調不良を嘆くことはあっても、愚痴や陰口の類を仰ることはありませんでした。

## 「交わり」の始まり

以前のように世界を自由に歩くことはなくとも、世界各地のご友人から届く沢山の季節のカードを居間に飾って、眺めていらっしやいました。居ながらにして世界中を駆け巡って楽しむことが出来る、そう言う方でした。神さまから頂いた命を充分に楽しみながら、人生を送られたのです。頂いた「命」への感謝が、

司祭 石坂みゑ子

無理なくしつくりと身に付いておられて、お会いする度に、「信仰」を誠実に生きる人が放つ「さわやかさ」に触れる思いでした。葬儀に際しての思いを一つ。棺に横たわる彼女を中心に集まった人たちが、一方的に祈って差し上げると言うよりも、むしろ彼女が今も活き活きと私たちのために祈っておられることに、はっと思いが至りました。新しい命の

(渋谷聖ミカエル教会副牧師)

## 信仰と生活委員会報告(6月28日)

\*青年活動支援部会報告、日韓青年セミナー(8月9日～14日・木々火・韓国ソウル)その他の参加支援報告、「大人企画」キャンペーンの後援(別掲)・エ教区ボランティア訪問参加その他の活動と進捗報告。

\*ソウル教区訪問「分ち合いの旅」(10月13日～17日・土々水・4泊5日)の準備・調整報告。「信仰と生活」の視点でのプログラム。近く案内書配付。

\*各種信徒講座(9月～11月)の確認と進捗報告、協議。

\*各教会グループ活動報告、催事予定の案内。

## ▽教区《大人企画》キャンペーン

信仰と生活委員会後援「青年たち

による大人のキャンペーン」と銘打つ

て、「教区史上初! 大人が元気になるための完全参加型リフレッシュキャンプ」が青年有志たちによって、参加呼び掛けされている。「大人たちが丸腰で参加し、楽しみ、立ち止まり、他者と出会い共有することによって、さらに生かされていることの喜びを実感する…」そんな「大人を元気にし、また青年たちも素敵な大人になつていく」ための企画。8月28日(火)～30日(木)、箱根スコーレプラザホテル。費用¥2万9千800円。集合11時9時半・新宿駅(高速バス利用)。照会、申込みは大人企画事務局(聖マーガレット教会内、代表神尾隆一郎・聖ガブリエル)へ、電話03(33334)2812。

## 《今、この教会では…》

## 東京聖マリア教会

昨年12月に管理牧師が鈴木裕二司祭に替わり、主日礼拝聖餐式は佐藤信康司祭、飯田徳昭主教、鈴木司祭が交代で司式。どなたもお出で頂けない主日は佐久間恵子執事による「み言葉の礼拝」をささげています。鈴木司祭がお出でになる主日には礼拝後少し時間を取り、『目からウロコの学びの会』を始めました。聖書における「目からウロコ」に始まり聖餐式での「聖書のみ言葉を聞きましょう」、次に応答「主は皆さんとともに・またあなたとともに」と続いています。佐久間執事による平日の聖書研究と共に、学びによる喜びを感じています。(岩浅紀久)

## 【学びと働きから】50

## 教会の歴史講座を終えて

▽:03年に始まった信徒講座「教会の歴史」シリーズ(信仰と生活委員会主催)が、この20日に4期40回の最終回を迎える。講師を勤められた竹内謙太郎司祭に、所感を綴っていただいた。

「時報」に行事への回顧などを書いてよいかどうか判りませんが、「注文ですので、敢えて所感を申し述べさせていただきます。

合計4年間にわたる講座は、熱心な方々によって支えられてきたと確信しております。ほとんど私の言いたい放題ですが、信仰の先達のたどった道を振り返ることは、現在の私たち自身への大切な便りを聞くという意

味では非ししなければならぬことと、講座を進めながらますますその感が深まる一方でした。それは私たちの今の立ち位置が何処にあるかの自己確認という課題に導かれるからです。21世紀の日本という状況で、私たちは本当に主イエス・キリストの立ち位置に共に立っているのかが問われることになるからです。そしてそれは自分自身の生の姿に誠実に向き合っているのかどうかも、当然問われていることに気付かされるからです。歴史を学ぼうとするときはいつも、このような問いかけに直面させられます。言い逃れのできない自己に向き合わせられます。深い興味と恐怖を歴史は私たちに与えてくれます。それは自己の内面

に巻き起こる強烈な緊張でさえあります。現在の日本聖公会、そして東京教区、さらに私たち一人一人の教会の状況に完全に満足しておられる方はともかく、少しでもそうでなければ、このような内面の緊張に誠実に向き合う必要があるのではないのでしょうか。そして、私たち一人一人の立ち位置を再確認するべきではないでしょうか。小規模でも、時を置いて、今になってつくづく講座の必要性を強く感じるようになりました。

神と、そして主イエス・キリストと向き合う自分をさらに見届けたいと願っています。皆さん方とは何処かでまた「一緒にいたい」のです。

司祭 竹内謙太郎

(東京聖テモテ教会嘱託司祭)